

研究評価委員会におけるコメント

第 2 2 回研究評価委員会（平成 2 1 年 9 月 1 7 日開催）に諮り、了承された。
研究評価委員会から以下のコメントが出された。

鉄鋼材料の革新的高強度・高機能化基盤研究開発（中間評価）

- 国際競争力を担保するために何に取り組むべきかについての議論が重要である。具体的な目標を定めて取り組むべきである。
- 鉄鋼材料分野における溶接、鍛造といったテーマは大学研究の現場で採用されにくい状況にある。NEDO においては、日本の基幹産業の底辺をささえている当該技術分野を俯瞰し、且つ溶接や鍛造以外にも多くのテーマがあるので、このようなプロジェクトと同じ視点で全体を眺めるようなプログラムを是非 NEDO の中で考えていただきたい。
- このような共通基盤技術の「実用化」は、最終的に何らかの形で一般に普及することであるため、権利化（特許）は重要である。

<コメントが無かったプロジェクトは、以下の通り>

（中間評価）

超ハイブリッド材料技術開発

微生物群のデザイン化による高効率型環境バイオ処理技術開発

循環社会構築型光触媒産業創成プロジェクト

（事後評価）

次世代衛星基盤技術開発プロジェクト